

Case 1

世代を超えた連携が、
料理教室の可能性を拓く。

子育て中のお母さんを対象とした、保育付き料理教室プロジェクト



保育付き料理教室開催の経緯

横浜農業協同組合（JA横浜）では、「食育」、「地産地消」を合言葉に、市内産農産物の普及や料理教室・講座などを開催し、多くの参加者が集まっている。

JA横浜では、こうした活動を進める中で、若いお母さんたちにも、料理教室などを通じて地域の農業に関心をもってもらいたいと考えていた。しかし、子育て中のお母さんは、子どもの手が離れるまではこうしたイベントに参加することは難しい。そこで、保育付きの料理教室を実施できれば、こうした若いお母さんたちにも参加してもらえと考えると、「保育付き料理教室」を開催すべく、検討を進めていた。

一方、本学児童学科では、授業の一環として、二〜三歳児とその保護者とともに活動を行う「児童臨床実習（幼児グループ）」を実施している。

プロジェクト概要

●テーマ

子育て中のお母さんを対象とした料理教室での保育方法を企画、運営する。

●パートナー

横浜農業協同組合

●担当教員

田尻さやか 助教

（現代生活学部児童学科）

●実施期間

平成25年7月～12月



JA横浜 助けあい組織とともにプログラムづくり

そこで、JA横浜と本学児童学科が連携し、保育付き料理教室のプログラムづくりを行うこととなった。JA横浜としても初の試みであり、相談を重ねてプログラムを検討した。

まず、当日の保育の担い手としては、JAの高齢者福祉事業を行う、JA横浜助けあい組織「たすけ愛の会」の会員の協力が得られることとなった。そこで、当日の保育は、同会の会員と、本学の学生、教員が協力して行うこととした。

子どもたちのために、どのような遊びや、用具を準備するかを、本学より提案し、また、助けあい組織の会員に対しては、事前説明会を開催し、保育にあたっての心構えや当日の対応等について、共有、確認を行った。説明会では、学生たちが手遊び等を披露し、大学における保育の学びの一端を紹介した。



お客さんを迎えて子育て応援料理教室を四回開催

上記のような過程を経て、保育プログラムを作成し、並行して、JA横浜では、料理教室のプログラムを作成した。イベント名を「保育付き！子育てママ・パパ料理教室」とし、十月四日（金）、十月二十九日（火）、十一月二十九日（金）、十二月九日（月）の計四回開催することを決め、チラシや新聞広告により各方面に情報発信した。

当日は、いずれも三〇人以上が集まり、料理を楽しんだ。当初の計画どおり、JA横浜の助けあい組織と学生、教員が役割分担して保育を行った。大きなトラブルもなく、参加者が安心して料理を楽しむ環境をつくることができた。

参加者からは、「スタッフの数が多いため、安心して預けられた」、「ひとりひとりに合った保育をしてくれた」、「いろいろな遊びがあつて良かった」などの感想が聞かれ、好評であった。

学生の役割とプロジェクトの意義

今回のプロジェクトでは、基本的なプログラムづくりは教員が行ったが、「たすけ愛の会」への説明会と当日の保育には、学生たちが参加した。保育を学ぶ学生にとっては、子どもだけでなく、親と接することも貴重な学習の機会である。また、今回ともに保育を担った会員の多くは、既に子育てを終えた、いわば、学生からみれば、「おばあちゃん」に相当する年代の方々である。こうした方たちから、保育という活動に関して学ぶことは多い。参加した学生からは、「様々な年代の人と保育をすることで、学ぶことがたくさんあった」、「初めてお母さんと離れる子どもたちの様子を見ることができて勉強になった」などの感想が聞かれた。

大学としては、保育に関する知見を地域社会に還元する機会であるだけでなく、学生にとっては貴重な学習の機会であり、さらに、社会にとってもニーズのある活動となっている。

KVA Column

現代生活学分野の多面的な連携

本学とJA横浜は、本プロジェクトのほかにも、横浜キャベツの普及促進をテーマにした連携を平成25年度に実施している。本プロジェクトは、児童学科との連携によるものだが、横浜キャベツのプロジェクトは、生活デザイン学科との連携である。このことは、本学が進める現代生活学の領域と、JA横浜が行う事業とは、さまざまな形で互いに貢献できる可能性が示されているということである。これまでは、テーマに応じた連携を進めてきたが、今回のように、学科の枠組みを超えて、現代生活学の領域で、多面的に地域連携を進めていくことにより、地域にとってより意義のある、また、実質的な活動になることが期待できる。また、こうした連携は、児童や福祉といった人生の縦軸と、衣・食・住・デザインといった幅広い生活領域を扱っている本学ならではの連携になることが期待できる。

